

ルール創りとリスクマネジメント。

組織が(業務の)ルールを決めても、職員が守らないことがある。組織がルールの必要性を説明しても、職員は知らん顔や、聞いているフリをするだけ。職員にルールを守らせるためにはどうすれば良いのだろうか。

まずはルールの意味を伝えるところから始めなければならないと考える。
職員が組織の作ったルールを守るのは当たり前、とっていては何も変わらない。
職員が組織のルールを破る原因は、大きく五つの理由が考えられる。

- 1)職員がルールを知らない
- 2)職員がルールを理解していない
- 3)職員がルールに納得していない
- 4)職員がルールを守らなくても許される原因がある
- 5)ルール違反に見合った罰が設定されていない

組織のルールを経営側が一方的に作り、一方的に押し付けるだけでは守ることができないのは当たり前だ。経験則だが、組織が一方的に押し付けたルールというのは守らないルールとなって、経営者の知らないところでトラブルとなる可能性が高い。ルールそのものがリスクになってしまうわけだ。

組織のルールを作るにあたって、先に述べた五つの理由を考えなきゃだめだ。
職員の立場に立ち、理解しやすく守りやすいルールを作る。または職員と一緒に創り上げるのがいいのではないかと考える。

- 1)どうやって周知するのか
- 2)どんなルールが理解しやすいのか
- 3)どんなルールだと皆が納得できるのか
- 4)今、守られていないルールをどうするか
- 5)違反者への罰はどんなのが良いのか

以上を考えたうえでルールの細部を作ってみよう。そうすれば、少なくとも誰も守らないルールにはならないはずだ。